

受入団体名：衣笠地域連携課

団体プログラム名：衣笠キャンパスを漢字でいっぱいにしてよう

募集人数

5名程度

<活動期間：2023年9月26日～2023年12月5日 活動日数：9日程度>

<活動日or 活動パターン>

■週1日程度・定例、□月1～2回・不定期 ■その他

<活動の流れ>

日時	活動内容
9/26(火)	構想の説明。「漢字探検隊」活動、および福島県喜多方市「漢字で町おこし」の解説。衣笠キャンパス漢字ラリー(前半)。
10/3(火)	OICアジアウィーク出展基本構想説明。衣笠キャンパス漢字ラリー(後半)。
10/10(火)	OICアジアウィーク出展内容検討。
10/17(火)	OICアジアウィーク出展内容準備。
10/22(日)	OICアジアウィークに出展、来場者対応。※終日の予定
10/31(火)	アジアウィーク振り返り。衣笠キャンパスでの仕掛けの検討。
11/14(火)	衣笠キャンパスでの仕掛け決定。
11/21(火)	仕掛けの具体的な仕様の製作。
12/5(火)	製作データの完成。

<主な活動場所>

衣笠キャンパス

大阪いばらきキャンパス(10/22のみ)

<キャンパスからの交通手段>

衣笠キャンパス：徒歩

大阪いばらきキャンパス：JR茨木駅

<活動に必要な費用>

無料

※10/22は交通費・昼食を支給します。

<参加の姿勢>

クリエイティブな姿勢で授業に臨んでください。

<コミュニケーションの手段>

■電子メール □Facebook

■LINE ■電話

□その他( )

## <活動のテーマと主な内容>

# 衣笠キャンパスを漢字でいっぱいにして

みなさんは、漢字が好きですか。小学校1、2年生の時には漢字を知ることが楽しみだったものの、だんだん漢字が嫌になってきた人も少なくないと思います。漢字はただの記号ではなく、自然や文化、思想のありさまを形にしたものなのです。

衣笠キャンパスの入り口8カ所の門に、門の名称とその由来、漢字の解説が書かれた銘板があるのをご存じでしょうか。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所(白川研)では、文化勲章受章者・白川静先生の研究をもとに、「漢字が身近な存在であることを思い出す」活動をしています。キャンパスの様々なものが漢字の成り立ちと結びつき、それはキャンパスの歴史とも密接に結びついています。

白川研は、漢字をテーマとした展示・体験イベントも行っています。毎回たくさんの方が訪れ、家族で楽しまれています。10月にはOICで開催の「アジアウィーク」にも出展します。皆さんには漢字イベントを楽しまれている姿を見ていただけたらと思います。一緒に漢字を楽しみましょう。

## <活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

白川研では、衣笠キャンパスで上記「門名称銘板の設置」やオープンキャンパスでの「古代文字ラリー」、YouTubeでの「古代文字ダンス」の制作などを行ってきました。しかしその見せ方は十分なものではありません。キャンパスの主役である学生のみならず、そして市民のみならずに興味をもって漢字や立命館の歴史を知っていたたけるきっかけを創っていきたいと思います。皆さんの感性やアイデアで、より魅力的な「しかけ」を作っていくことを願っています。

## <学生が期待できる学び>

漢字に関する知識が得られるだけでなく、皆さんのアイデアが形になってキャンパスの歴史に残ります。漢字や言葉、現代史が好きな方はもちろん、子どもが好きな方、教職や社会福祉、デザインやエンタメ企画に興味をもっている方の受講も歓迎します。

# <活動紹介>



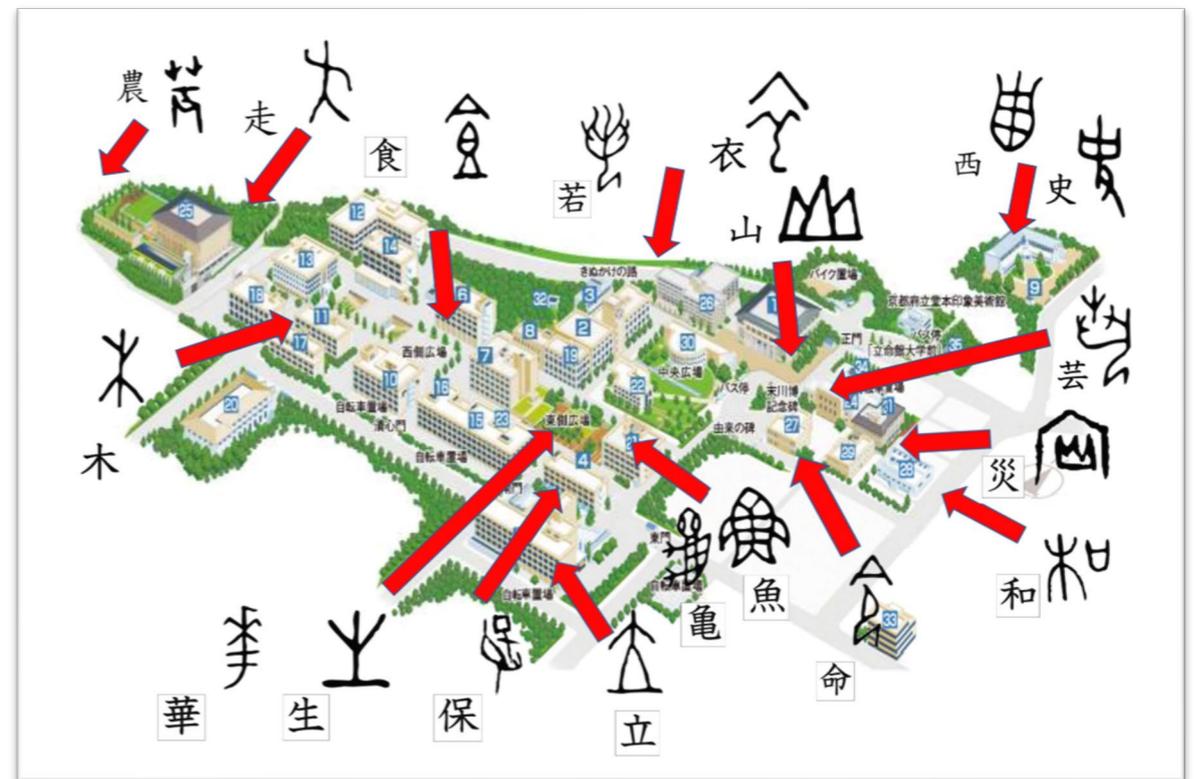
【オープンキャンパスでの古代文字ラリー】



【漢字あそびイベント】



【門名称銘板】



【衣笠キャンパスで出合える漢字(例)】